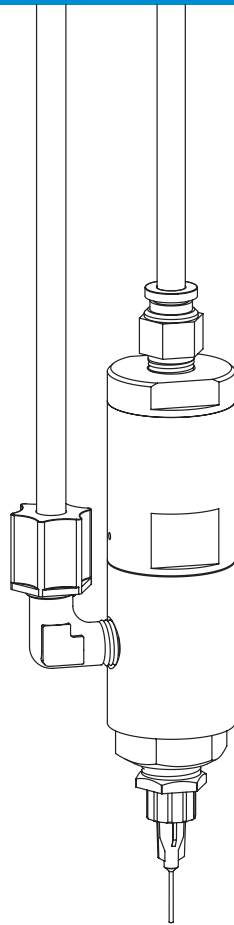


725D-SS / 725D ピストンバルブ

メンテナンス・パーツガイド



重要!
このガイドは大切に保管してください。

このガイドは、メンテナンス管理者にお渡しください。

ノードソンEFDの取扱説明書のpdf
ファイルは、www.nordsonefd.com/jp
からダウンロードできます



バルブの分解組立手順

⚠ 注意

損傷を防ぐために、バルブは液剤吐出口側から分解してください。

1. 取付穴に取り付けロッドをねじ込む。
2. 接液ボディーキャップを取り外す。
3. シーリングヘッドを取り外す。*
4. シリンダーボディーのレンチフラットをレンチで挟み、回転させて接液ボディーを緩める。
5. 接液ボディーを取り外す。*
6. エア入力チューブをエアシリンダーキャップのプッシュイン継手から取り外す。
7. キャップのエア入力穴に1/8"六角レンチを差し込み、シャフト固定ネジを2回転させる。*

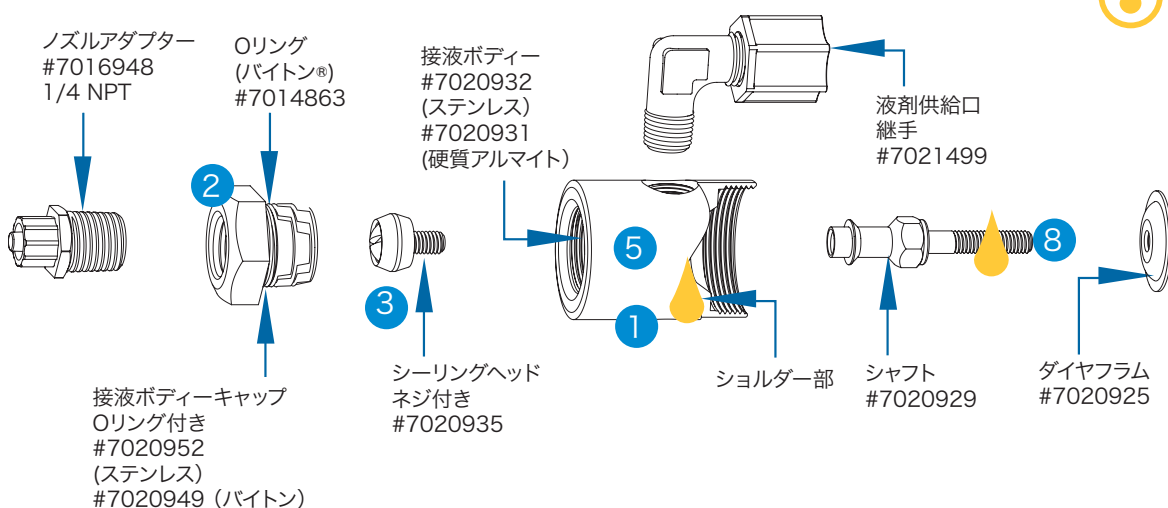
8. シャフトに六角レンチを差し込み、ネジを緩ませ、シャフトとダイヤフラムを取り除く。*
9. シリンダーキャップをシリンダーボディーからネジを緩ませて取り外す。*
10. ピストンとバネを取り除く。

注意: バルブを再組立する前に、全てのパーツを洗浄し、Oリング、シーリングヘッド、ダイヤフラムを交換して下さい。ネジが損傷していないか、ピストンピンが歪んでいないか、接液ボディーシートに穴がないか確認します。

⚠ 注意

Do not thread fluid inlet fittings too far into the valve. Doing so can obstruct the piston shaft, causing leakage, poor dispensing performance, and damage to the valve.

分解した順番の反対に再度組み立てます。下記に示されたパーツをメンテナンスキットに入っている、ナイ潤滑油#865で潤滑します。



メンテナンスキット #7021008

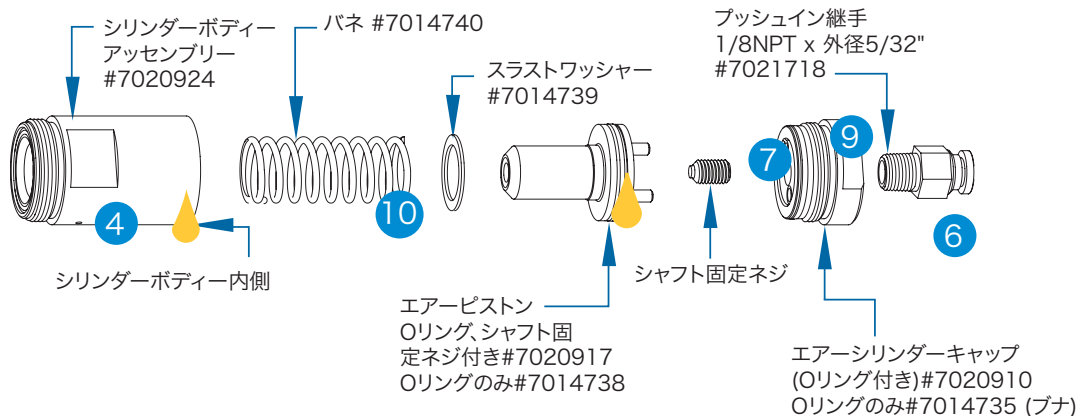
キット内容 : シリンダーボディーおよび
接液ボディーキャップ用Oリング、ダイヤフラ
ム、ネジ付きシーリングヘッド、潤滑油

使用する工具:

1/8" 六角レンチ
1/4" マイナスドライバー
3/8" メガネレンチ
7/8" スパナ
1/8"NPT オスパイプ、あるいはロッド

手順番号	パーツ	ニュートン・メートル	(インチポンド)
3	シーリングヘッドネジ	1.69 Nm	(15インチポンド)
5	接液ボディー	6.78 Nm	(5 フィートポンド)
7	シャフト固定ネジ	2.82 Nm	(25インチポンド)
8	シャフト	1.69 Nm	(15インチポンド)
9	シリンダーキャップ	0.8 Nm	(8フィートポンド)

*左ページの手順で、*が付いている手順に関しては、上記表に示されるトルクで組み立ててください。



トラブルシューティング

液剤が吐出されない

- ・バルブ駆動エアの圧力が低すぎる場合、バルブは開きません。エア圧を最低でも 0.48MPa/4.8bar (70psi) まで上げてください。
- ・タンクのエア圧が充分でない。エア圧を上げてください。
- ・ノズルが詰まっている。ノズルを交換してください。
- ・ストローク調整が閉じている。ストローク調整を開けてください。
- ・接液ボディー内で液剤が固化している。
- ・接液ボディーを洗浄してください。液剤供給チューブが取付穴に取り付けられている。取り外して正しく取り付けてください。

バルブが閉じたあと、液漏れが見られ、徐々に止まる

- ・この現象は、接液ボディーの吐出部にエアが溜まっている、あるいは液剤にエアが混入している場合に見られます。エアはバルブが閉じたあとに膨張し、エアが大気圧に達するまで液剤を押し出します。
 - ・エアが見られなくなるまで液剤を定量で吐出し、パージを行なってください。ゲージの小さいノズルを使用している場合、ノズルアダプターからエアが抜けるのに十分な液剤が吐出しない場合があります。そのときは、ノズルを取り外してください。
 - ・液剤にエアが混入しているときは、吐出を行なう前に脱泡してください。
- 注意:** ストライプや線引きのアプリケーション、バルブ開放時の急激な液剤の流れを防ぐため、低めの入力エア一圧設定を推奨します。

バルブが閉じたあと、液漏れが一定の間隔でみられる

- ・一定間隔で液漏れする場合は、液剤の粒子の堆積、あるいは、シーリングヘッドの摩耗のため、シーリングヘッドが完全に閉じないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。
- ・Fluid leakage can also occur when a fluid inlet fitting is threaded too far into the valve, thus obstructing the piston shaft. Ensure that the fluid inlet fitting is properly installed.

バルブが閉じたあと、液漏れが一定の間隔でみられる

- ・一定間隔で液漏れする場合は、液剤の粒子の堆積、あるいは、シーリングヘッドの摩耗のため、シーリングヘッドが完全に閉じないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。

駆動エア入力口下の通気孔から液剤が漏れる。

- ・駆動エア入力口のすぐ下に、放熱用の通気孔がありますが、ここから液剤が出るのは、タイヤフラムが破損していることが考えられます。メンテナンスガイドに従って交換して下さい。

吐出が不安定

- ・バルブ駆動や液剤タンクへの供給エア圧が一定ではない、あるいはバルブ駆動エア圧が0.48MPa (70 psi)未満の場合、液剤吐出が不安定になる場合があります。エア圧が安定しており、駆動エア圧が0.48MPa (70 psi)に達しているかご確認ください。
- ・バルブの開放時間は一定である必要があります。バルブコントローラーが正しい出力を行なっているかご確認ください。



ノードソン EFDは、世界40ヶ国に販売・サービス拠点を持っています。詳細は www.nordsonefd.com/jp をご覧ください

日本

+81-3-5762-2760; japan@nordsonefd.com

グローバル

+1-401-431-7000; info@nordsonefd.com

WAVEデザインは、Nordson Corporationの登録商標です。
©2021 Nordson Corporation 7026827 v011621